

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属	(株)JTB総合研究所					
役職	コンサルティング第一部長 主席研究員					
氏名	篠崎 宏	ふりがな	しのざき ひろし	生年月日	1966年9月15日	
連絡先住所	〒101-0044 東京都港区芝3-23-1セレスティン芝三井ビルディング12F					
電話番号	03-3525-4529	メールアドレス	shinozaki@tourism.jp (■を@に変えて下さい)			
2. 経歴・取組内容、取組分野等						
主な経歴・受賞歴	<p><経歴> 北海道大学経済学部卒。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1990年JTBに入社。海外旅行支店、北海道営業本部を経て、JTB本社事業創造本部地域ビジネス事業部チーフプロデューサーに就任。地域活性化の戦略構築、観光客誘致戦略、新規ビジネスモデル構築などを専門に行う。 ◆2007年4月からJTB総合研究所(旧ツーリズム・マーケティング研究所)にて調査研究コンサルティングを行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ◆総務省 地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録) ◆6次産業化中央サポートセンター 6次産業化プランナー(6次産業化プランナー登録) ◆全国商工会連合会 観光専門家(観光専門家登録) 					
主な取組内容、実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◆2007年度 総務省・都市から地方への移住・交流の促進に関する調査研究会委員、北杜市長期滞在型リゾートの杜推進委員会アドバイザー ◆2008年度 木曾地域観光アドバイザー、五島市商工会観光専門委員、北海道周辺離島における地域活性化方策に関する懇談会委員、北海道における外国人ドライブ観光の推進方策検討委員 ◆2007年～2009年度 奥尻島観光アドバイザー ◆2008年～2010年度 東三河シニアリフレッシュ事業アドバイザー ◆2008年～2014年度 全国商工会連合会観光専門家 ◆2010年度 札幌商工会議所・ビジネス地域資源調査プロジェクト委員、農林水産省・「食」に関する将来ビジョン検討本部民間委員 ◆2010年～2012年度 農林水産省・食料農業農村政策審議会委員 ◆2011年度 新地域再生マネージャー ◆2012年度 奥尻島観光アドバイザー、豊橋市・二川地域における地域ブランディング戦略策定業務アドバイザー、経済産業省・中心市街地商業等活性化支援業務有識者委員、農林水産省・地域食文化活用マニュアル検討会委員 等 ◆2013～2014年度 新地域再生マネージャー、奥尻島観光アドバイザー、北海道観光アドバイザー 					
取組分野	○	1	観光振興		7	住民参加・協働
		2	産業振興		8	イベント交流
		3	過疎地域・限界集落の振興		9	食品流通
		4	中心市街地活性化		10	環境
		5	まちづくり景観		11	NPO・ボランティア
	○	6	農林水産品の開発・ブランド化		12	その他()
3. 関連ホームページ						
	名称	アドレス				
	(株)JTB総合研究所	http://www.tourism.jp/				


4. ふるさと財団での実績

地域再生マネージャー	◆2011年度 北海道名寄市 「農商工連携型観光クラスター形成による地域再生プロジェクト」 ◆2013年度 北海道奥尻町 「震災20周年奥尻島将来への二つの礎事業」 ◆2014年度 北海道奥尻町 「奥尻島将来への2つの礎事業 ～ 新たな資金循環モデルの構築Ⅱ ～」 ◆2016年度 北海道白老町 「多文化共生の魅力あるまちづくり推進事業」
地域再生セミナー講師	
環境整備型マネージャー	
短期診断マネージャー	

5. 財団報告書

名称	アドレス
平成23年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchiikisaiseiM-houkokusho.pdf
平成25年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H25jichiikisaisei-jigyohoukokusyo.pdf
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jigyohoukokusyo.pdf

6. 写真・ひとことPR

	<ひとことPR> 観光、農業、食分野に精通したコンサルタント。現場経験を体系化して、あらゆる立場の方にわかりやすく伝えることを最も重視している。離島をはじめとする過疎地でのコンサルティング経験も豊富で、直近では新たな交流モデルの構築について研究を行っている。
---	--